八〇歳からが働き盛りの健康をつくる 病効論（病気有効論）とは？

病効論（病気有効論）をコアコンセプトとした自然治癒力の普及活動をはじめて５５年の歳月が早くも過ぎました。「病効論」の視点から健康を考えると、人体には、世界一、最も優れた健康回復能力が備わっている、ということが明確に、多くの人たちの実体験として実証され、増々確信を深めることが出来ました。ここでは、その一部を記述させていただきましたが、詳しくは「自然治癒力で病気は治る（昭和５７年出版）」や、機関誌「自然治癒力」や、そのバックナンバーを取り寄せていただけますなら幸いに存じます。

ＮＰＯ法人　日本自然治癒力研究会　会長　福田善昭

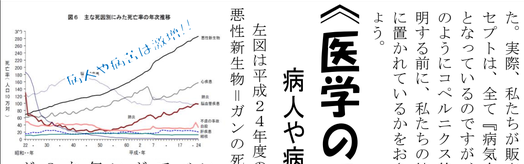
コペルニクス的転回

コペルニクス的転回という言葉をご存じでしょうか？　それは、哲学者のカントが自分の哲学を評して、物事の見方が１８０度変わってしまう事を比喩した言葉です。カントは『認識論』の考え方を１８０度変えました。『病気有効論』は、医学の常識を１８０度変えてしまいました。実際、私たちが販売する商品のコンセプトは、全て『病気有効論』がベースとなっているのですが、医学のどこをどのようにコペルニクス的転回したかを説明する前に、私たちの健康がどんな状況に置かれているかをおさらいしてみましょう。

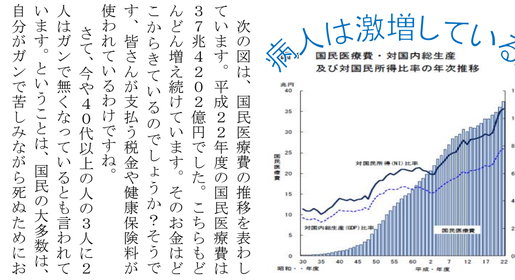
《医学の現状》

病人や病苦が激増

左図は平成２４年度の医療統計です。悪性新生物＝ガンの死亡率をご覧下さい。他の死因と比べて突出した人数で、しかも右肩上がりに伸び続けています。平成２４年度にガンで亡くなった方はおよそ３７万人ほどですが、果たして何人の方が安らかに亡くなったのでしょうか？皆さんの回りで、寝たきり・薬漬け、抗がん剤や放射線治療をしながら、痛みで苦しみながら亡くなった方はありませんか？



あなたは、それが素晴らしい医療であり、是非体験してみたいと思いますか？



次の図は、国民医療費の推移を表わしています。平成２２年度の国民医療費は３７兆４２０２億円でした。こちらもどんどん増え続けています。そのお金はどこからきているのでしょうか？そうです、皆さんが支払う税金や健康保険料が使われているわけですね。

さて、今や４０代以上の人の３人に２人はガンで無くなっているとも言われています。ということは、国民の大多数は、自分がガンで苦しみながら死ぬためにお金を払い続けている…ということにならないでしょうか？

現在は関係ないと思っていても、何年か後には私たちの大多数がそういう悲惨な最期を迎える・・・そんな医療社会で本当に良いのでしょうか？

『病効論』は、そんな現状を打破できる唯一無二の理論なのです。では、その内容を説明していきましょう。

《そもそも病気とはなんでしょうか？》

病気は健康の怖い敵である…これが常識といわれている一般認識だと思います。

怖い敵だからクスリを飲む、病院で注射を打ってもらう…当然の流れだと思います。しかし、そこには幾つもの大きな落とし穴があるのです。

《落とし穴①》そのクスリは、本当に効きますか？《落とし穴の②》クスリ自体は安全ですか？　そして《最大最強の落とし穴③》そもそもその病気は本当に敵なのでしょうか？

まず、第一に病気自体を治すクスリは存在しません。すべてのクスリは「症状を軽減するだけ」のものです。症状は軽くなるかもしれませんが、原因はそのまま放置されることになりますから、かえって悪化することも十分に考えられます。第二に、クスリには必ず副作用があります。いつも飲んでいるクスリの注意書きをキチンと読んだことがありますか？

左に掲げたのは、ドラッグストアでも買える、ごく一般的な解熱鎮痛剤の副作用です。頭痛が薬になる代わりに、ショックや心不全で死ぬかもしれないですよ～と書いてあります。第三に、（ここが一番大事なところです）病気は敵ではなく、健康回復への有効作用なのです。あまりピンとこないかもしれませんね。では、実例を挙げて説明してみましょう。

今、あなたはカゼをひいていろいろな症状が出ているとします。症状ごとにどんな有効性があるのか列挙します。

①発熱…体温の上昇による免疫力の上昇。血流の向上。発汗による毒素の排出。各種内分泌器官・内臓機能などの活性化等。

②セキ…毒素の排出

③くしゃみ…毒素の排出

④頭痛…痛みの刺激によるツボ療法

上記はほんの一例です。

カゼをはじめとして腹痛や歯痛、糖尿病、高血圧など、ほとんどの病気に上記のような有効性があります。病気になり何らかの症状がでているということは、健康を回復するための有効作用が発揮されているということになる訳です。

ですから、カゼをひいてクスリを飲んだ結果、熱が下がってしまうと、免疫力が十分に上がらないため、逆に長引いてしまったり、セキやくしゃみを止めてしまうと排出するべき毒素が体内に残ってしまったり…という害を引き起こします。

安易にクスリに頼ることは、せっかくの有効性を押さえつけてしまうことであり、結果的に自分で自分を苦しめることになるのです。カゼをひいたら熱をどんどん出して、どんどんセキをして、どんどん悪いものを排出して、どんどん健康になりましょう！というのが病効論のひとつの考え方といえるかもしれません。どうですか？病気に対する考え方が１８０度変わったでしょう？

つづく

ある解熱鎮静剤の副作用

- 喘息発作、ショック、アナフィラキシー様症状
- 心不全、溶血性貧血、白血球減少、血小板減少
- 消化性潰瘍、胃腸出血、胃痛、腹痛、下血、吐血
- 肝機能障害、黄疸
- 急性腎不全、ネフローゼ症候群
- 皮膚粘膜眼症候群、中毒性表皮壊死症、無菌性髄膜炎
- これ以外の副作用、副反応には、下記のものがあります。
- 胃痛、腹痛、吐き気、吐く、口内炎、食欲不振
- 肝臓、腎臓の機能低下、むくみ
- 発疹、じんま疹
- かゆみ、かぶれ、発赤、発疹、刺激感

あなたのホームページを製作無料
「GWWハーツ」加入、HPを製作　会員に限り、先着順人数に限りがあります
※詳細は、お問い合わせ下さい
TEL 027−353−1277

平成２５年特集号発行　自然治癒力　216号

自然治癒力が高まると病気になる？

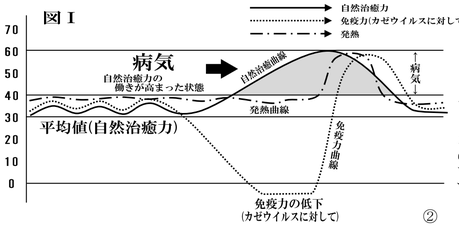
健康の反対は、不健康です。不健康原因を除去して、健康を回復する有効作用が病気です！！

病気をするから健康になれる

一般的に誰でも、自然治癒力が低下するから病気になると思い込んでいますが、それは逆なのです。病気は根本的に体質を改善して健康回復への有効作用ですから、自然治癒力が高まるからこそ、起きてくる世界一優れた人体が健康を取り戻す為の自己治療であり、自己浄化治療作用なのです。これを理解する為に以下のことを記述したいと思います。

健康の反対は、病気ではありません。健康の反対は、不健康です。不健康になるには、不健康になる原因があるから、その不健康原因を除去して、健康を回復治療する作用（能力）が病気（自然治癒力の活発な働きであるとともに自然治癒力の高まりを意味します）なのです。

※自然治癒力の働きとは、心身の持っている健康回復浄化治療能力が高まった結果、自己浄療作用が活発に働き出した状態のことです。その活発な有効的働きこそ病気だったのです。



図Ⅰの説明

①自然治癒力とは、自己浄化作用（自浄作用）であるとともに、体質改善作用であり、健康回復治療作用のことです。

したがって、上記図のように自然治癒力曲線が高まり、自然治癒力が活発に働き出した状態が病気ということになります。人体は、精神面（心身一如）も含め、病気をすることによって真の健康を取り戻すことができるのです。

②免疫力は、自然治癒力の高まりとは逆に、低下しています。これは何故でしょうか。

以前にも説明させていただいたように、自然の森等もそうです。バクテリアやウイルスは自然界の掃除屋さんであり、有効的働きをしているのです。

従って、免疫力は人体にとってウイルスが有益な働きをすることを知っているので、免疫力は人体への侵入を歓迎して、カゼウィルスやインフルエンザに対して、攻撃しないよう停止させるのです。

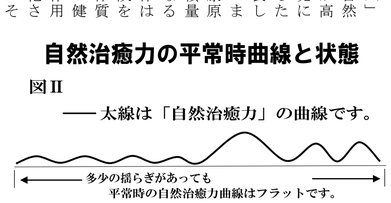
自己浄療作用（病気）とは自然治癒力の活発な働きです

「病効論」つまり、病気とは健康回復の為に人体に備わっている最も優れた健康回復作用であるとする理論のことです。この考え方を分かりやすく説明したものが「病気有効論」ですが、この考え方からすると、「自然治癒力が高まるので病気が起こる」ことが良く理解できるはずです。

図Ⅱの説明

「病気」とは、自然治癒力が高まり活発に働き出した状態を表します。つまり不健康原因の蓄積量が高くなると、人体は身の危険を察して体質改善等、健康回復作用を活発化させます。そのような状態こそが自然治癒力の働きが高まった状態です。そのような作用が人体に備わっています。

但し、平常な時には、自然治癒力の働き曲線は、それほど増幅することなくフラットな状態を保ちます。



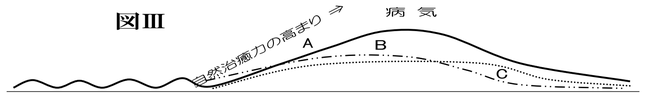
自然治癒力が低下すると病気になるのではない

病気とは＝自然治癒力が活発に働いている状態＝体質改善能力や自己浄化治癒能力が活発に働いている状態＝自然治癒力が高まっている状態です。

しかし、図Ⅲのように、何となくだるいとか、気分がすぐれない、疲れやすいという状態が長く続くこともあります。これは、病気とは言われない程度の自己浄化治療作用が起きているのです。

長く続く場合がありますが、長いだけ体質改善効果や健康回復有効効果は出ているのです。

健康効果はアップしているのですから、感謝して頑張りましょう。



入会ご案内
特典　沢山
エコトピアランド ＆ GWWハーツ
※「会員特典と入会ご案内」パンフをご覧下さい
自然治癒力 普及活動 ５０ 年の実績
人体には、世界一優れた若返り健康回復能力がある
八十歳からが、働き盛りの健康をつくろう
素晴らしい真の健康や美しい痩身づくりは人体の中の『最も優れた若返り健康回復能力』を活用しよう。
会　費　詳しくは、お問い合わせ下さい
年会費と支払方法　①１千円（自動引き落とし）　②１万円一括払い
※自動引き落とし書類をお送りします。ご連絡下さい。
学生会員　５千円　専門会員３万円（入会金１５万円）
振込口座 ゆうちょ銀行振替（郵便振替）　口座番号 00540-4-5170
加入者名　自然治癒医学協会
ＮＰＯ法人
日本自然治癒力研究会
日本自然治癒医学協会
〒370-0013 群馬県高崎市萩原町 1400-16
TEL 027-353-1277　FAX 027-353-1131
URL　http://www.shizenchiyu.gr.jp